

令和7年度森林公園森の家施設等指定管理者評価委員会 会議録（要旨）

日 時	令和7年7月17日（木） 13：00～15：15	
場 所	静岡県庁西館6階環境局会議室（静岡市葵区迫手町9番6号）	
出席者	<委員長>	宮城島 史人（ふじのくに観光振興アドバイザー）
	<委員>	荒巻 太枝子（静岡県シェアリングネイチャー協会理事） 井戸 直樹（ネイチャースクール森のたね代表） 木村 美穂（きむら工房） 船戸 修一（静岡文化芸術大学文化政策学部文化政策学科 教授） 眞野 匡雄（静岡県中小企業団体中央会理事）
	ほか、指定管理者及び事務局	
評価対象者	株式会社ヤタロー（県立森林公園森の家、県立森林公園指定管理者）	
内 容	令和6年度における指定管理者の取組に対する評価	

【注意】

- ・各発言者の要旨を記載している。
- ・公開に当たり、委員名は特定しない。委員長については、委員長としての発言のみ特定している。

株式会社ヤタローのプレゼンテーションに対する質疑応答

< 質疑応答 >

○委員 森の家は猛暑の影響で利用率が減りました。暑さ対策として気温に応じ、イベントの内容を変更するとのことですが、どのようなことをされたのか教えてください。夏は特に利用者が減ったということですが、何か企画はありますか。

○指定管理者 猛暑の影響により、イベントの時間を短縮したり、講話等は屋内開催に変更するなど、熱中症にならないような対策をしました。また参加者に対し、飲料水の携帯など暑さ対策をしてくださいと案内をした上で開催しました。また、夏の企画として、レストランでは季節に応じた様々な料理を展開し、夏は涼しげに食べれるぶっかけそばや夏野菜カレーなどを提供しましたが、暑さや大雨の影響で客足が減ったりしました。令和6年度は実施しませんでしたでしたが、今年度は雨の日クーポンをSNSで配信し、画面を提示すると、ワンドリンクサービス等を提供しています。夏に向け料理等、色々工夫して展開していますが、暑さに対する直接的な解決策には至っていないので、今後も研究したいと思っています。

○委員 アンケートの回答が多数ありますが、高評価が多いと感じます。イベントも多く、SNS を見ても更新が頻繁で、内容も充実していて満足度が高いのが納得できます。森の家のアンケートの結果、宿泊施設が木造で、子供が二階で宿泊していると足音等が気になり、できるだけ一階にしてほしいという要望がいくつかありました。令和6年度は、団体と個人の割合は団体の方が多いという結果でしたが、団体と個人が同日の宿泊となった場合、宿泊エリアが分かれるのか、また事前に予約フォームから子どもの情報が入った場合に、階の指定ができるのか教えてください。

○指定管理者 二階の騒音については、かねてより問題とになっています。宿泊棟は二階建ての木造ですが、極端な話をしますと、階段を上があると音が発してしまう構造です。お子様がいる場合の調整はしています、満室でない時は一部屋飛ばしにするなどしていますが、お子様は、普段と違うところなので興奮して廊下を走る等してしまいますので、これに対する苦情もあります。団体利用の場合、宿泊エリアが分かれるかどうかですが、一階と二階に洋室のツインが一部屋、洋室の四人部屋が二部屋、あとは和室が一階と二階にあるので、利用したい部屋の要望に応えると、どうしても上層階、下層階にお子様を混在してしまう場合があります。団体の利用の場合は、なるべく同一の階で調整します。団体は、企業研修、子供会、スポーツ合宿等、利用される団体で状況が変わります。スポーツ合宿等で利用する団体と個人のお客様が混在する場合は、チェックインの際に団体がいるということを、個人の方に伝え、また、入浴時間も先に団体の利用時間を指定した後、個人の方に団体の利用時間を伝えることで、トラブルが発生しないよう対応しています。

○委員 団体利用が増えると、個人の方の苦情が増える傾向にあるので、バランスを取るのには難しいと思いますが、一言あるだけで全然印象が違うと思います。配慮されていることが分かりました。

○委員 森林公園のボランティアの会は作業にも参加されており、延べ人数1,151人と記載がありますが、ボランティアの会はどのような組織なのか、また森林公園のサポーター活動の記載もありますが、ボランティアの会とサポーターの違いを教えてください。

○指定管理者 ボランティアの会は指定管理者が事務局となり、一般の方を会員として募集して登録しています。活動内容は森林公園の管理運営や、プログラムの開催への協力です。グループごとに原則毎月一回程度の活動を実施しています。年間12回の活動に参加した人数を全て計上しています。ボランティアの会はこのような形で森林公園の事業に無償で参加していただいています。交通費は支給していませんが、保険は指定管理者で加入しています。昨今は、暑さ対策として一昨年度から、お茶を配るようになりました。サポーターは、イベント開催時等に協力してもらっており、登録しますが、年間を通してのボランティア保険は加入していません。開催の都度、イベントの傷害保険に加入しています。活動テーマは環境学習や自然観察ではなく、森林公園の整備に関わる活動です。個人名簿を登録し、グループに固定されて毎月参加するのは難しいので、単発で気軽に森林公園の活動に参加したい方もいますので、その方向けに整備をしています。サポーターの方もボランティアという形で無償で実施しています。

○委員 基本的には市内近辺に住んでいる方の割合が高いですか。

○指定管理者 はい。また、現金は渡していませんが、サポーターポイントというものを渡しています。参加するとポイントを渡し、ポイントが貯まると物販コーナーの割引券として利用できます。感謝の気持ちとして渡しています。

○委員 令和6年度の収支はマイナスとなっています。一生懸命に様々な形で努力されていますが、結局持ち出しとなってしまっています。自主事業の料金を上げるなど考えているのか、また森林公園の来場者数はどのようにカウントしているのか教えてください。

○指定管理者 宿泊料金は条例で上限金額が定まっております、この上限金額で設定していますが、昨今の人件費の上昇により、委託料会計が黒字となるのが難しい状況です。このため、自主事業で補いたいのですが、自主事業も原材料や光熱費の高騰があり、食事代等も値上げはしているところですが、県の施設なので、近隣のホテル旅館と同じような料金設定は難しいです。また値段を上げると、利用者の期待度も高くなるため、料理はもとより、ハード面のクレームが増えますので、このバランスを考えると上げ辛いです。また、団体の利用の増加は嬉しいことですが、団体利用は料理単価が安いです。これまで個人と団体のバランスは5:5を目指してきましたが、昨今の費用の上昇を考えると、団体は45%程度がボーダーラインと考えています。とはいえ、夏場や閑散期の団体利用は非常にありがたい話です。綿密に計算し、どのような展開が適切なのかを検討することが課題です。来園者数のカウント方法は、巡視員が毎週水・日曜日の午前及び午後1回、園内の駐車場の車両台数をカウントしています。時間は大体10時と14時としています。巡視という性格上、トイレのチェックなども兼ねて行っていますので、時間は多少前後します。曜日についても、4月5月、また8月から11月の6ヶ月間は土曜日も行っています。過去からこの形で行っており、比較的公園の利用者数が多い季節は変動もあるため回数を増やしていると思います。カウントした台数に3.5人乗車という設定で人数を算出しています。これ以外に、森林公園の利用届を受けており、この利用申請書の人数を加え来園者数を算出しています。

○委員 森林公園の来園者も暑さの影響で令和6年は減っています。また、今年も空梅雨で、非常に暑い日が続いています。何か対策はありますか。森林公園は山なので、涼しい木陰に行きたいと来園者に思われると私は思ったのですが、そうではなく、来園者は減ったということでした。これに対して、例えばミストを設置して来園者に涼しくなってもらおう等の工夫を今年度行うのかどうか教えてください。

○指定管理者 森林公園の職員間ではミストの話題も出ています。ホームセンターで値段を確認するなどしています。家庭用のものでは大変なので、業者と相

話し、水道代等の費用も含め検討していきます。ミストは視覚効果もあるので検討していきたいと考えています。

○委員 森林公園の森の色の企画展はとても良いと思います。森林を違う視点でPRする企画で、入りやすい入り口だと思います。参加された方の意見や感想を教えてください。

○指定管理者 通常来られるお客様ではない方のご参加が目立ちました。草木染に関心がある方やふらっと入ってこられた方など、色見本がたくさん並んでいるので、興味を持たれた方がいました。一名、自然素材で新しい塗装に挑戦されている塗装屋さんが来られ、普段草木染めで使わない種類も草木染めにし、それでその色の違いを出したところ、「このような色の違いが出るとは興味深い」というご意見をいただいたり、またお子様向けの草木染体験では、雑木の整理や外来種の駆除等で発生したものを活用して草木染めにしてみたところ、「自宅の周りでも外来種があるので、親子でやってみると楽しいよね」というご意見をいただいたり、普段とは少し異なる反応をたくさんいただくことができました。

○委員 全国でクマの被害のニュースが頻繁にあります。森林公園も山中ですが、危機管理等のようにしていますでしょうか。

○指定管理者 静岡県で熊出没マップを公表しています。月に1度は確認をし、西部地域での目撃情報を確認しています。個人的にもクマのネットワークに入っている所以、そこからも情報を得ています。また、森林林業研究センターに野生動物の専門の方がいるので、一般的に公表されない情報がある場合も、今後も個人的なつながりで情報が得られるようにしていきたいと思っています。クマやイノシシに限らず、サルやニホンジカ等も出没が多いです。大型の野生動物が人里まで来ているのが実態ですので、クマのみでなく野生動物全般に対して、敏感になっていきたいと考えています。

○委員 子ども連れが多いと思いますが、ニュースを見ているとできるだけ近づきたくないという意識が働いてしまいますので、この施設は出没しておらず安全だという情報をだすことで、近づきにくいという状況にならないよう気をつけていっていただきたいと思っています。

<評価決定及び講評>

○委員長 議事を再開します。株式会社ヤタローの評価結果について、各委員の皆様合計点から平均点を計算しましたところ、94.4点になりました。

静岡県立森林公園森の家施設等指定管理者評価に関する運用基準に照らし合わせると総合評価としては「優」として評価をすることになりますが、よろしいでしょうか？

(異議なし)

森林公園森の家施設及び森林公園施設指定管理の評価は「優」で決定します。

(株式会社ヤタロー入室)

○委員 森の家は、宿泊を伴う自然ふれあい体験など充実してきたと思います。竹籠やロケットストーブなど、普段の生活では経験できない体験が組み込まれ、とても良いと思いました。森林公園の企画展はメッセージ性があり、かつ森林公園らしい企画でとても良いと思いました。イベントに関してアンケートを取ると、来園者がどのように感じてくれたのか分かるので、とられるといいと思います。

○委員 毎回と思いますが、森の家と森林公園の、連携ならではの取組が展開されていると思います。個人にも団体にも良いサービスが提供できていると感じました。難しいのは夏の暑さですが、私も山の中で仕事をしていて耐えられる暑さではない時も多いです。夏は残念ながら活動時間を短くすることや他の季節に移行するなどを考えないと、厳しい状況だと思います。応援しています。

○委員 堅実な運営をされていると思います。持ち出しがあるということですが、持続性を考えると、指定管理者だけの問題ではない気がしています。他の委員も指摘されたように、夏場の気候は私たちにはどうにもできないので、ミストという案もありましたが必要条件になりつつあると思います。

○委員 楽しいイベントが多く、近くであれば積極的に参加したいなと思いました。私自身子どもがおり、猛暑が辛く、出かける気にもならないのですが、そのような中で、子どもが遊べるような水のイベントやかき氷等、涼みに行けるイベントがあると、行く気になります。また広い施設なので、水筒の中身もすぐに無くなるので、そのような時に自動販売機があるという情報が救いになります。園内マップに熱中症対策として、日陰や自販機の情報があると、危機を免れることができると良いと思います。

○委員 一体管理の相乗効果が出てきて素晴らしいと思います。酷暑の影響ですが、この暑は特殊要因ではなく今後はスタンダードになると考える必要があると思います。暑さの対策はもちろんです、集客時期や事業計画の見直しをした方が良いと感じました。難しいとは思いますが、暑い時こそ森林公園にという環境整備ができれば良いと期待します。

○委員 自然が相手ですが、クマや暑さに関しても利用者は常に様々な形で情報を得ますので、対応することが大切だと思います。森の家は利用料金の上限があり、足かせがあるとは思いますが、レストラン料金の値上げは急に行うのではなく、来年の予定を事前に周知することにより値上げは可能だと思います。私もそのような経験があり、学校団体には値上げの理解をしてもらいました。企業である以上、収支が黒字にならないとおかしいと思ってしまいます。一生懸命努力していることは分かっていますが、赤字をなくすように努力していただきたいと思います。森林公園は来場者数が減ったということでしたが、年間70万人来ているのですごい施設だと思います。維持できるように、県民が安心して利用できる施設になっていただきたいと思います。